



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社クオルテック

上場取引所 東

コード番号 9165 URL <https://www.qualtec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 友宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部部长 (氏名) 大野 和彦

TEL 072 (226) 7175

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の業績 (2025年7月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	3,305	8.2	431	24.6	448	29.9	297	36.0
2025年6月期第3四半期	3,055	8.5	346	△13.6	345	△10.5	218	△17.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	126.39	—
2025年6月期第3四半期	92.90	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	4,761	3,487	73.2
2025年6月期	4,346	3,277	75.4

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 3,487百万円 2025年6月期 3,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期 (予想)				37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の業績予想 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	9.3	405	5.4	404	5.2	271	23.4	115.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	2,350,000株	2025年6月期	2,350,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	一株	2025年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	2,350,000株	2025年6月期3Q	2,350,000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明資料は、本日（2026年5月15日）、TDnetで開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に弱めの動きも見られますが、緩やかに回復していると考えられます。消費は、物価上昇の影響が残るものの雇用者所得の着実な増加を背景に底堅い動きを見せております。もっとも、中国経済の先行き懸念やウクライナ・中東等の地政学的リスク、米国関税の政策運営等、わが国経済を取り巻く世界情勢は依然として予断を許さない状況となっております。

一方、当社を取り巻く環境は、主要顧客が属する自動車業界においては、電動化推進の動きが活発になっております。環境問題に関する脱炭素化への取組も加速しており、特に電力消費削減技術としてパワー半導体が注目されております。パワー半導体は自動車やエネルギー産業での使用が拡大しており、今後も開発競争が続くと見ております。

このような状況下で、当第3四半期累計期間の売上高は信頼性評価事業と微細加工事業において増加し3,305,130千円（前年同期比8.2%増）となりました。営業利益は研究開発を積極的に進めたことで、研究開発費の増加が影響したものの431,677千円（前年同期比24.6%増）となりました。経常利益は営業外収益において、「MAP（Mist-Assisted universal Plating）プロジェクト」に係る補助金収入18,746千円を計上し448,818千円（前年同期比29.9%増）となりました。四半期純利益は、前第3四半期累計期間において投資有価証券評価損の計上を行っていたことから297,011千円（前年同期比36.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（信頼性評価事業）

信頼性評価事業では、分析・解析において主要顧客からの高単価案件や環境試験で振動、塩水等の試験案件受注が好調に推移したことが業績を牽引しました。パワーサイクル試験や断面研磨も引き続き堅調な受注推移となっております。売上原価は、持続的な成長の重要な要因となる設備投資や人的投資を進めたことによりコストが増加しました。この結果、売上高2,888,865千円（前年同期比7.0%増）、営業利益962,924千円（前年同期比13.7%増）となりました。

（微細加工事業）

微細加工事業では、レーザ加工において通信関連の量産品加工の案件受注が好調に推移したことや、試作品加工でも堅調な受注獲得が出来たことで売上高が伸長しました。また、表面処理技術においては、主要顧客の素材関連の案件受注が好調に推移したことにより業績に寄与しました。この結果、売上高400,600千円（前年同期比32.6%増）、営業利益208,863千円（前年同期比60.1%増）となりました。

（その他事業）

その他事業では、バイオにおいて厚労省案件である医療用消耗品の信頼性試験が完了したことにより、売上高が縮小しました。この結果、売上高15,664千円（前年同期比70.6%減）、営業損失15,475千円（前年同期は営業損失7,361千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は4,761,830千円となり、前事業年度末に比べ415,748千円増加いたしました。

流動資産は2,933,503千円となり、前事業年度末に比べ410,518千円増加いたしました。これは主に「現金及び預金」341,471千円増加、「売掛金」28,536千円増加及び「電子記録債権」16,477千円増加によるものであります。固定資産は1,828,326千円となり、前事業年度末に比べ5,229千円増加いたしました。これは主に分析・試験設備等の取得に伴う「有形固定資産」21,422千円増加及び税効果会計上の一時差異解消等に伴う「投資その他の資産」16,050千円減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は1,274,682千円となり、前事業年度末に比べ205,686千円増加いたしました。

流動負債は731,188千円となり、前事業年度末に比べ65,254千円増加いたしました。これは主に「未払法人税等」39,979千円増加及び「賞与引当金」25,437千円増加によるものであります。固定負債は543,493千円となり、前事業年度末に比べ140,431千円増加いたしました。これは主に固定負債「その他」に含まれるリース債務123,073千円増加及び「退職給付引当金」14,844千円増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は3,487,148千円となり、前事業年度末に比べ210,061千円増加いたしました。

これは主に「四半期純利益」297,011千円の計上及び剰余金の配当86,950千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想については、2025年8月8日公表の業績予想に変更はありません。

第3四半期累計期間において、各種利益が通期業績予想を上回って推移しておりますが、足元では、米国関税の政策運営の動向や中東地域における地政学的リスクの高まりに加え、為替変動や原材料価格の動向等、当社の業績へ影響を及ぼし得る不確実性が増しており、これらの状況を総合的に勘案しつつ社内で精査中のため、現時点においては通期業績予想の修正は行っておりません。

なお、今後の事業環境の変化や業績の進捗等により、通期業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,535,006	1,876,477
受取手形	3,554	1,926
電子記録債権	69,305	85,783
売掛金	728,473	757,009
仕掛品	103,312	110,325
原材料及び貯蔵品	22,901	19,359
その他	69,447	94,820
貸倒引当金	△9,015	△12,198
流動資産合計	2,522,985	2,933,503
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	640,807	605,402
工具、器具及び備品（純額）	494,578	471,780
その他（純額）	428,229	507,855
有形固定資産合計	1,563,615	1,585,038
無形固定資産	27,120	26,978
投資その他の資産	232,360	216,309
固定資産合計	1,823,096	1,828,326
資産合計	4,346,082	4,761,830
負債の部		
流動負債		
買掛金	233	202
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	17,500	—
未払法人税等	56,858	96,838
賞与引当金	25,181	50,619
役員賞与引当金	9,200	10,533
その他	436,959	452,994
流動負債合計	665,933	731,188
固定負債		
退職給付引当金	158,333	173,178
役員退職慰労引当金	18,072	19,775
資産除去債務	117,878	118,351
その他	108,778	232,189
固定負債合計	403,062	543,493
負債合計	1,068,995	1,274,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	392,100	392,100
資本剰余金	1,066,550	1,066,550
利益剰余金	1,818,436	2,028,498
株主資本合計	3,277,086	3,487,148
純資産合計	3,277,086	3,487,148
負債純資産合計	4,346,082	4,761,830

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,055,709	3,305,130
売上原価	2,081,084	2,144,201
売上総利益	974,624	1,160,928
販売費及び一般管理費	628,290	729,251
営業利益	346,333	431,677
営業外収益		
受取利息	53	307
補助金収入	—	18,746
固定資産売却益	263	108
物品売却益	6	1,714
その他	221	591
営業外収益合計	545	21,468
営業外費用		
支払利息	1,168	4,030
その他	91	296
営業外費用合計	1,259	4,326
経常利益	345,619	448,818
特別損失		
固定資産除却損	5,332	1,115
減損損失	—	6,372
投資有価証券評価損	10,175	—
事務所移転費用	3,038	—
特別損失合計	18,546	7,488
税引前四半期純利益	327,072	441,330
法人税、住民税及び事業税	94,011	134,274
法人税等調整額	14,743	10,044
法人税等合計	108,754	144,318
四半期純利益	218,318	297,011

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	234,684千円	341,293千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	信頼性評価 事業	微細加工 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	2,700,165	302,204	3,002,370	53,339	3,055,709	—	3,055,709
外部顧客への売上高	2,700,165	302,204	3,002,370	53,339	3,055,709	—	3,055,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,700,165	302,204	3,002,370	53,339	3,055,709	—	3,055,709
セグメント損益	846,639	130,438	977,077	△7,361	969,716	△623,382	346,333

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオ、ゼロ・イノベーション等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント損益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期累計期間において、パワエレテクノセンター開設に係る工事や分析・試験設備等の取得等に伴い固定資産が増加し、前事業年度の末日に比べ、「信頼性評価事業」のセグメント資産が、369,725千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、組織シナジーの最大化を目的とした2024年7月1日付の組織変更に伴い、従来「その他」に区分していた表面処理技術を「微細加工事業」に変更しております。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	信頼性評価 事業	微細加工 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	2,888,865	400,600	3,289,465	15,664	3,305,130	—	3,305,130
外部顧客への売上高	2,888,865	400,600	3,289,465	15,664	3,305,130	—	3,305,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,888,865	400,600	3,289,465	15,664	3,305,130	—	3,305,130
セグメント損益	962,924	208,863	1,171,788	△15,475	1,156,312	△724,635	431,677

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオ、ゼロ・イノベーション等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント損益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期累計期間において、設備能力増強に向けた分析・試験設備等の取得等に伴い固定資産が増加し、前事業年度の末日に比べ、「信頼性評価事業」のセグメント資産が、142,918千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	信頼性評価事業	微細加工事業	その他 (注)	全社・消去	合計
減損損失	—	—	6,372	—	6,372

(注) 「その他」の金額は、バイオに係る金額であります。